

令和元年度 第3回 久留米市地域公共交通会議 議事

《議 案》

- | | | | |
|-------|-----------------------------------|-------|------|
| 議案第6号 | 北野地域よりみちバスの事業計画変更（案）について | ----- | P 1 |
| 議案第7号 | 城島地域よりみちバスの事業計画変更（案）について | ----- | P 9 |
| 議案第8号 | 久留米市地域公共交通網形成計画の検証と次期計画策定の方向性について | ----- | P 17 |

《報 告》

- | | | | |
|-------|--------------------------------|-------|------|
| 報告第4号 | 路線バス久留米線の一部減便について | ----- | P 22 |
| 報告第5号 | 生活支援交通「よりみちバス」の利用状況等について | ----- | P 25 |
| 報告第6号 | 令和元年度事業（公共交通マップの更新）の取り組み状況について | ----- | P 32 |

議案第6号

北野地域よりみちバスの事業計画変更（案）について

北野地域よりみちバス（コスモス号）の事業計画変更（案）について、別紙のとおり承認を求める。

令和元年12月26日提出

北野地域よりみちバス（コスモス号） 事業計画変更（案）

■事業計画の変更概要

（方針）利用者は増加傾向であり、現在の運行ルート、ダイヤを基本とし、運行の効率化や利便性の向上、遅延への対応などの変更を行う。

項 目	変 更 概 要
運行車両 運行方式	○変更無し
運行日	○変更無し
バス停	1)廃止 ○下今山公民館〔要予約バス停〕 ○高良6区公民館〔要予約バス停〕 2)名称変更 ○ぽっかぽかの湯 ⇒ ほっこりの湯 ○中村 ⇒ 三井中央高校入口(予定)
運行ルート 運行ダイヤ	①大城1・2便運行ルートの一部変更(交通規制対策・多客対策) ②大城6便運行ルートの復乗部分を廃止(利便性向上) ③金島2便の終点変更(赤司から神代病院へ向かう系統確保) ④金島4便の終点変更(金島からザ・ビッグ北野店へ向かう系統確保) ⑤金島5便の起点変更(ザ・ビッグ北野店から金島へ向かう系統確保) ⑥金島7便の終点を A コープ大刀洗店に変更(利便性向上) ⑦金島8・9便の廃止(利用者が少ないため効率化) ⑧北野便全便の運行ルート見直し(利便性向上) ⑨弓削1・3便の終点、4・6便の起点を三井中央高校入口に変更(利便性向上) ⑩弓削7・9・11便を2便に集約(合理化) ⑪弓削12便の運行ルート見直し(合理化) ⑫所要時分の見直し(運行の遅れの軽減)
その他	○特になし

1. 運行の目的

既存公共交通を補完・連携し、自動車を自由に運転することができない高齢者などの移動制約者に対する買物や通院などの日々の移動手段を確保する。

2. 事業主体

久留米市

3. 運行主体

(委託先) 福岡県筑後地区タクシー協会

[運行事業者] ・有限会社 北野猪口タクシー

・安全タクシー 有限会社

※委託先、運行事業者は令和元年12月時点の事業者を記載

4. 運行車両

10人乗り車両 2両

5人乗り車両 (予備車両：追走、不定期運行に使用)

○一般乗用旅客事業者運送事業に供する車両と併用

○使用する車両の最大寸法 (10人乗り)

全長 5,380mm×全幅 1,880mm×全高 2,285mm

5. 運行方式

路線定期運行 (一部迂回路線、路線不定期運行併設)

6. 運行日と運休日

1) 運行日 (変更有：赤色部)

月曜～土曜 (運行系統を2つに分け隔日運行〔A日程、B日程〕で運行)

日程	運行曜日	主な運行校区	便名と運行本数
A 日程	月・水・金	大城校区	大城便:8便(往復 4→5, 循環 4→3)
		金島校区	金島便:12→9便(往復 12→9, 循環 0)
B 日程	火・木・土	北野校区	北野便:6便(往復 0→1, 循環 6→5)
		弓削校区	弓削便:12→11便(往復 12→11, 循環 0)

※表中の「往復」は往路又は復路の片側で1便と計数

※現行本数→変更後本数で記載

2) 運休日

日曜、祝日

お盆 (8月13日～15日) 及び年末年始 (12月31日～1月3日)

7. 運行範囲、バス停 【資料2 参照】

1) 運行範囲

- ・北野地域全域（旧北野町）
- ・善導寺校区の一部（プラザ善導寺、ぜんどうじ整形外科、つむら眼科医院）
- ・宮ノ陣校区の一部（古賀茶屋駅）
- ・大刀洗町の一部（大堰駅、Aコープ大刀洗店）

2) バス停（変更有：赤色部）

校区別バス停数

校 区	弓削校区	北野校区	大城校区	金島校区	その他
通常バス停	11	21	26	13	6
要予約バス停	1→0	4→3	2	3	0
校区合計	12→11	25→24	28	16	6
総 数	87→85(通常77 要予約10→8)				

※通常バス停：通常の運行(路線定期運行)で停車するバス停

※要予約バス停:利用するためには予約が必要となるバス停(予約があった場合にのみ定路線から迂回運行して停車する)

※現行バス停数→変更後バス停数で記載

バス停名称変更

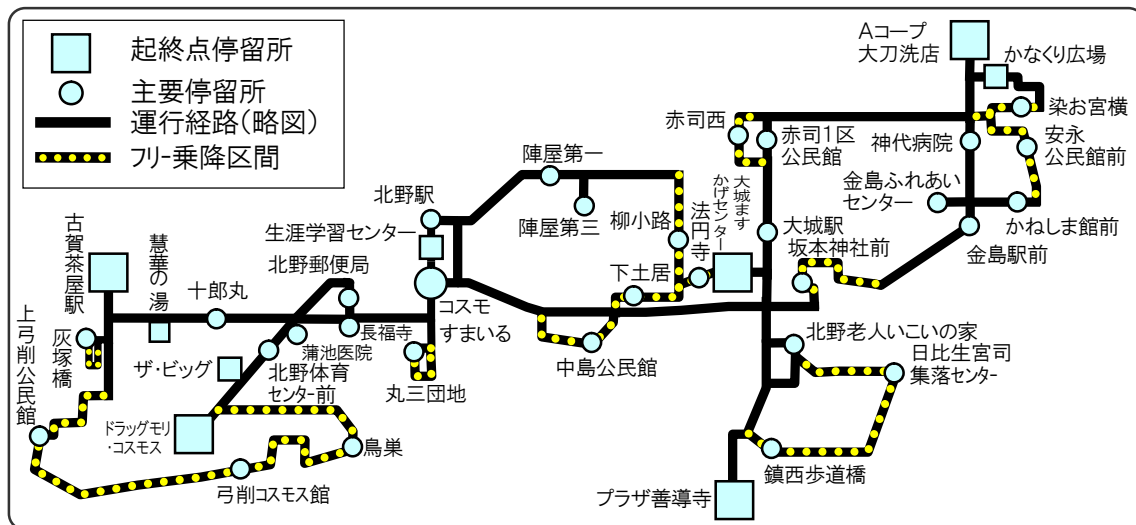
- ぽっかぽかの湯 ⇒ ほっこりの湯
- 中村 ⇒ 三井中央高校入口(予定)

廃止バス停

- 下今山公民館 [要予約バス停]
- 高良6区公民館 [要予約バス停]

3) 運行経路 (変更有：変更部は資料2参照)

概略運行経路



【参 考】

フリー乗降区間に設定する区間の状況

- 集落内、若しくは集落周辺の生活道路
- 交通量は少なく、集落居住者の交通が主体
- 道路は1車線（一部2車線）で、乗車の際は原則進行方向の左側路側帯で待つ。道路幅員が狭く路側帯も無い区間では、利用者は道路端で待つ（「よりみちバス」車両の停車により他車両は停車、若しくは徐行して通行する）。

8. 運行ダイヤ (変更有：変更部は資料2参照)

別紙資料に記載

9. 運賃等

1) 運 賃

- ① 1回利用 200円

《ただし、次の方は100円で利用可能》

- ◆小学生及び未就学児（未就学児は保護者同伴で無料）
- ◆障害者の方（身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳提示）
- ◆運転経歴証明書提示者（運転免許自主返納者）
- ◆路線バス、鉄道の定期券提示者（北野地域内及び古賀茶屋駅・大堰駅が起終点のもの）
- ◆西鉄バスグランドパス65提示者

※定期券類は有効期限内のものに限る

② 北野地域1日バス乗車券 300円

- 1日乗車券はよりみちバス、路線バス（北野線）で利用可能
- 路線バスは北野地域内の乗降のみ利用可（造出～石崎間の乗降）
- 1日バス乗車券は「よりみちバス車内」「(有)北野猪口タクシー本社」で購入可能（※西鉄バス北野線車内では販売していません）



③ 1ヶ月定期券 1,000円

- 1ヶ月定期券は「よりみちバス」のみで利用可能（路線バス（北野線）は利用不可。）
- 1ヶ月定期券は「よりみちバス車内」のみで購入可能



2) 同乗介助者等の運賃無料

- 障害者や校区まちづくり振興会等の実施イベント（サロン事業等）に参加する高齢者を介助・付添する人の「よりみちバス（コスモス号）」運賃を無料（運賃は久留米市負担）にするもの

3) その他利用券の発行

- よりみちバスの運賃支払いに利用できる100円券を発行

4) 無料お試し乗車の実施（予定）

- 事業計画変更日（運行ルート、ダイヤの改正日）から1ヶ月間（月単位）、よりみちバスが無料で乗車できる期間を設定
- 対象は高齢者、障害者の方、運転免許証自主返納者に限定

備考) 無料お試し乗車について

- 新たな運行ルート、ダイヤに慣れてもらうこと、これまで利用をためらっていた方に、まずは乗ってもらうことを目的として実施
- 利用者の運賃は、久留米市が負担

10. 利用方法

1) 「通常バス停」の乗降方法

乗車時	<ul style="list-style-type: none"> ○運行ダイヤを確認し、通過時刻前にバス停前で待つ。 ○バスが来て扉が開いたら乗車。 ○乗務員に運賃を支払い、『行き先(降車バス停)』を告げて着席。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block; margin-top: 5px;">運賃先払い</div> <p style="text-align: center;">【よりみちバス車内で「1日バス乗車券・1ヶ月定期券は購入可能」】</p>
降車時	○降車バス停に車両が完全に停止してから席を立ち降りる。

2) 「要予約バス停」の乗降方法

乗車時	<ul style="list-style-type: none"> ①乗車時刻が10:00よりも早い便へ乗車する場合 ②乗車時刻が10:00よりも遅い便へ乗車する場合 	<ul style="list-style-type: none"> ○前日17:00までに「北野猪口タクシー」に電話 <ul style="list-style-type: none"> ※利用日、利用する便名、利用するバス停を伝える ※受付時間は9:00～17:00 ○バス停からの乗車方法は通常バス停と同じ。 ○利用時刻1時間前までに「北野猪口タクシー」に電話 <ul style="list-style-type: none"> ※利用日、利用する便名、利用するバス停を伝える ○バス停からの乗車方法は通常バス停と同じ。
降車時	○通常バス停の乗降方法と同じ ※乗車時に要予約バス停に降りることを伝える。	

3) フリー乗降区間からの乗車方法

○バスが来たら手を上げる等の合図により乗務員に知らせる。

【バスから見える安全な位置でしっかりと合図】

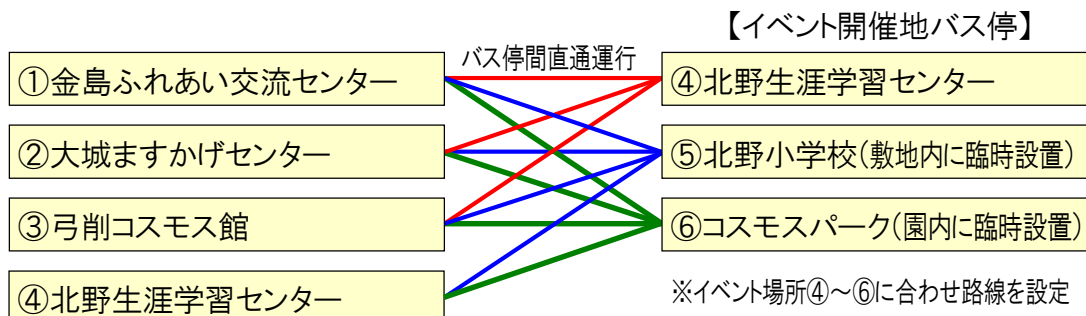
○交差点や見通しの悪い曲がり角等、安全な乗車が確保できない場所では停車しない。

4) 乗車定員に達し乗り切れなかった場合の対応

○よりみちバス車両の乗客定員は9名であるため、定員に達して乗り切れない場合は、5人乗り車両（セダン型タクシー）を使い追走便を運行する。

11. 臨時運行 【資料2 参照】

- 新規利用者の獲得を目的とし、運休時（日・祝日）の車両を活用して、地域イベントの開催に合わせた臨時運行を実施
- 臨時運行バス停及び路線



- 路線不定期運行として申請し、イベント開催日時に合わせて運行日、運行ダイヤを設定（イベント開催前に利用者へは広報誌等で周知を実施し、国に運行の実施を届出）
- 使用する車両・バス停、運賃は通常運行に同じ。

議案第7号

城島地域よりみちバスの事業計画変更（案）について

城島地域よりみちバス（インガット号）の事業計画変更（案）について、別紙のとおり承認を求める。

令和元年12月26日提出

城島地域よりみちバス（インガット号） 事業計画変更（案）

■事業計画の変更概要

（方針）利用者は増加傾向であり、現在の運行ルート、ダイヤを基本とし、運行の効率化や利便性の向上を図るための変更を行う。

項目	変更概要
運行車両 運行方式	○変更無し
運行日	○変更無し
バス停	1)新設 ○芦塚浜〔通常バス停〕 ○筒江東〔通常バス停〕 ○マルキョウ三瀦店前〔通常バス停〕 2)通常バス停の要予約バス停化 ○城島ふれあいセンター ○浜公民館 ○浜南
運行ルート 運行ダイヤ	①バス停新設に伴う一部ルートの変更 ②通常バス停の要予約バス停化に伴う一部ルート変更 ③A1便を2つの系統に分離 （両国橋～アスタラビスタ城島店、城島総合支所～ゆうゆう） ④回送区間の営業化等による増便 （下田校区からアスタラビスタ三根店方面、城島総合支所方面） ⑤A3・A8便の一部ルート変更（揚田公民館に停車） ⑥A9・A12便の起終点変更（あおき温泉をアスタラビスタ城島店に変更） ⑦A13便とA15便を統合（アスタラビスタ三根店～ゆうゆう） ⑧B11便以降をゆうゆう～西ノ島に統一し、その時分確保のため一部減便
その他	○特になし

1. 運行の目的

既存公共交通を補完・連携し、自動車を自由に運転することができない高齢者等の移動制約者に対する買物や通院などの日々の移動手段を確保する。

2. 事業主体

久留米市

3. 運行主体

(委託先) 福岡県筑後地区タクシー協会

[運行事業者] ・有限会社 丸金タクシー

・有限会社 くまタクシー

※委託先、運行事業者は令和元年12月時点の事業者を記載

4. 運行車両

10人乗り車両 2両

5人乗り車両 (予備車両：追走、不定期運行に使用)

○一般乗用旅客事業者運送事業に供する車両と併用

○使用する車両の最大寸法 (10人乗り)

全長 5,380mm×全幅 1,880mm×全高 2,285mm

5. 運行方式

路線定期運行 (一部迂回路線、路線不定期運行併設)

6. 運行日と運行期間

1) 運行日 (変更有：赤色部)

月曜～土曜 (運行区域を2つに分け隔日運行〔A日程、B日程〕で運行)

日程	運行曜日	主な運行校区	便名と運行本数
A 日程	月・水・土	下田校区	A便: 16→18(往復 16→18)
		江上校区	
		城島校区	
B 日程	火・木・金	浮島校区	B便: 18→16(往復 18→16)
		青木校区	
		城島校区	

※表中の「往復」は往路又は復路の片側で1便と計数

※現行本数→変更後本数で記載

2) 運休日

日曜、祝日

お盆（8月13日～15日）及び年末年始（12月29日～1月3日）

7. 運行範囲、バス停 【資料2 参照】

1) 運行範囲（変更有：赤色部）

- ・城島地域全域（旧城島町）
- ・犬塚校区の一部
（天竺橋、壺町原、マルキョウ三瀧店前、安本病院、犬塚駅、ゆうゆう）
- ・みやき町の一部（江見（郵便局前）、アスタラビスタ三根店）
- ・[通過のみ]大川市の一部、大木町の一部、神埼市の一部

2) バス停（変更有：赤色部）

校区別バス停数

校 区	城島校区	下田校区	江上校区	青木校区	浮島校区	その他
通常バス停	24→21	8→9	14→15	18	5	7→8
要予約バス停	5→8	2	2	0	0	0
校区合計	29	10→11	16→17	18	5	7→8
総 数	85→88(通常76 要予約9→12)					

※通常バス停：通常の運行(路線定期運行)で停車するバス停

※要予約バス停:利用するためには予約が必要となるバス停(予約があった場合にのみ定路線から迂回運行して停車する)

※現行バス停数→変更後バス停数で記載

新設バス停

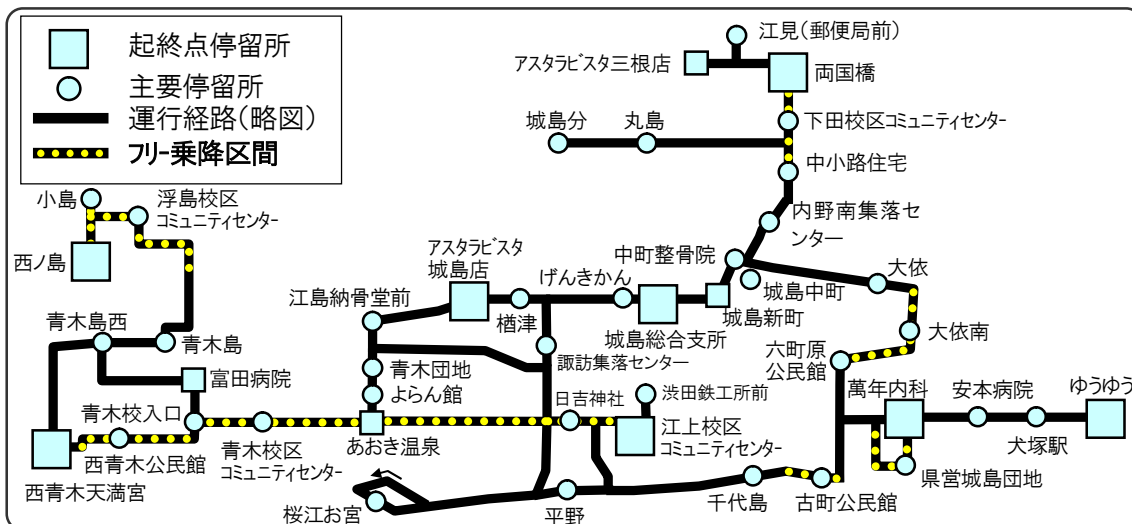
バス停名(状況)	現地写真	
<u>芦塚浜</u> (通常バス停:バス停は施設敷地内に設置。車両は道路上に停車)		
<u>筒江東</u> (通常バス停:バス停は施設敷地内に設置。車両も施設敷地内に停車)		
<u>マルキョウ三瀧店前</u> (通常バス停:バス停は施設敷地内に設置。車両も施設敷地内に停車)		

通常バス停の要予約バス停化

- 城島ふれあいセンター
- 浜公民館
- 浜南

3) 運行経路 (変更有：変更部は資料2参照)

概略運行経路



【参 考】

フリー乗降区間に設定する区間の状況

- 集落内、若しくは集落周辺の生活道路
- 交通量は少なく、集落居住者の交通が主体
- 道路は1車線（一部2車線）で、乗車の際は原則進行方向の左側路側帯で待つ。道路幅員が狭く路側帯も無い区間では、利用者は道路端で待つ（「よりみちバス」車両の停車により他車両は停車、若しくは徐行して通行する）。

8. 運行ダイヤ (変更有：変更部は資料2参照)

別紙資料に記載

9. 運賃等

1) 運賃

① 1回利用 200円

《ただし、次の方は100円で利用可能》

- ◆小学生及び未就学児（未就学児は保護者同伴で無料）
- ◆障害者の方（身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳提示）
- ◆運転経歴証明書提示者（運転免許自主返納者）
- ◆路線バス定期券提示者（城島地域内及び下林・江見バス停、犬塚駅が起終点のもの）
- ◆西鉄バスグランドパス65提示者 ※定期券類は有効期限内のものに限る

② 城島地域1日バス乗車券 300円

- 1日乗車券はよりみちバス、路線バス（大善寺線）で利用可能
- 路線バスは城島地域内及び下林間の乗降のみ利用可
（上城島～下林間の乗降）
- 1日バス乗車券は「よりみちバス車内」「（有）丸金タクシー本社」で購入可能（※西鉄バス大善寺線車内では販売していません）



③ 1ヶ月定期券 1,000円

- 1ヶ月定期券は「よりみちバス」のみで利用可能（路線バス（大善寺線）は利用不可。）
- 1ヶ月定期券は「よりみちバス車内」のみで購入可能



2) 同乗介助者等の運賃無料

- 障害者や校区まちづくり振興会等の実施イベント（サロン事業等）に参加する高齢者を介助・付添する人の「よりみちバス（インガット号）」運賃を無料（運賃は久留米市負担）にするもの

3) その他利用券の発行

- よりみちバスの運賃支払いに利用できる **100円券** を発行

4) 無料お試し乗車の実施（予定）

- 事業計画変更日（運行ルート、ダイヤの改正日）から1ヶ月間（月単位）、よりみちバスが無料で乗車できる期間を設定
- 対象は高齢者、障害者の方、運転免許証自主返納者に限定

備考) 無料お試し乗車について

- 新たな運行ルート、ダイヤに慣れてもらうこと、これまで利用をためらっていた方に、まずは乗ってもらうことを目的として実施
- 利用者の運賃は、久留米市が負担

10. 利用方法

1) 「通常バス停」の乗降方法

乗車時	<ul style="list-style-type: none"> ○運行ダイヤを確認し、通過時刻前にバス停前で待つ。 ○バスが来て扉が開いたら乗車。 ○乗務員に運賃を支払い、『行き先(降車バス停)』を告げて着席。 【よりみちバス車内で「1日バス乗車券・1ヶ月定期券は購入可能」】
降車時	○降車バス停に車両が完全に停止してから席を立ち降りる。

2) 「要予約バス停」の乗降方法

乗車時	<ul style="list-style-type: none"> ①乗車時刻が10:00よりも早い便へ乗車する場合 ②乗車時刻が10:00よりも遅い便へ乗車する場合 	<ul style="list-style-type: none"> ○前日17:00までに「丸金タクシー」に電話 ※利用日、利用する便名、利用するバス停を伝える ※受付時間は9:00～17:00 ○バス停からの乗車方法は通常バス停と同じ。 ○利用時刻1時間前までに「丸金タクシー」に電話 ※利用日、利用する便名、利用するバス停を伝える ○バス停からの乗車方法は通常バス停と同じ。
降車時	○通常バス停の乗降方法と同じ ※乗車時に要予約バス停に降りることを伝える。	

丸島・城島分・渋田鉄工所前 からの利用について

- 丸島・城島分・渋田鉄工所前から予約があった場合、5人乗り車両にて迎車し、下田校区または江上校区のコミュニティセンターまで輸送する。その後、A日程の車両に乗り換えて目的地まで移動。予約は利用の前日17時まで。
- 丸島・城島分・渋田鉄工所前に帰る場合、A日程の運行に合わせて、下田校区または江上校区のコミュニティセンターから5人乗り車両で輸送する。

3) フリー乗降区間からの乗車方法

○バスが来たら手を上げる等の合図により乗務員に知らせる。

【バスから見える安全な位置でしっかりと合図】

○交差点や見通しの悪い曲がり角等、安全な乗車が確保できない場所では停車しない。

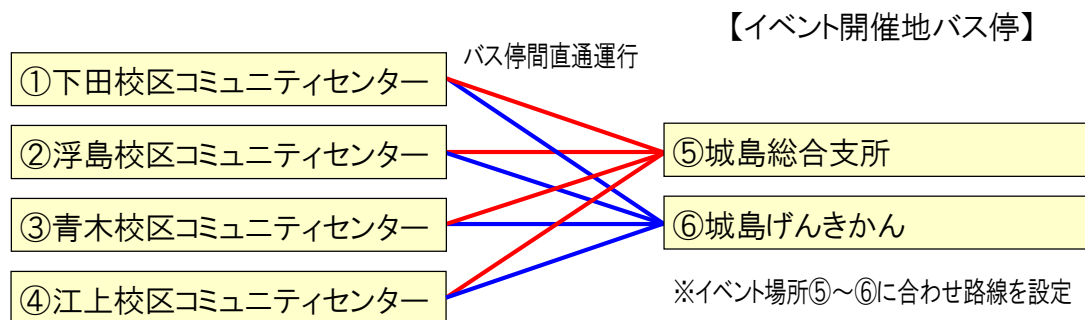
4) 乗車定員に達し乗り切れなかった場合の対応

○よりみちバス車両の乗客定員は9名であるため、乗車定員に達して乗り切れなかった場合は、5人乗り車両（セダン型タクシー）を使い追走便を運行する。

11. 臨時運行 【資料2 参照】

○新規利用者の獲得を目的とし、運休時（日・祝日）の車両を活用して、地域イベントの開催に合わせた臨時運行を実施

○臨時運行バス停及び路線



○路線不定期運行として申請し、イベント開催日時に合わせて運行日、運行ダイヤを設定（イベント開催前に利用者へは広報誌等で周知を実施し、国に運行の実施を届出）

○使用する車両・バス停、運賃は通常運行に同じ。

議案第8号

久留米市地域公共交通網形成計画の検証と次期計画策定の方向性について

久留米市地域公共交通網形成計画の検証と次期計画策定の方向性について、別紙のとおり承認を求める。

令和元年12月26日提出

第2期久留米市地域公共交通網形成計画の策定について

1. 地域公共交通網形成計画とは

- ◎市が中心となりまちづくりと一体となって、関係者と合意のもと、持続可能な公共交通ネットワークサービスを形成するための計画です。
- ◎路線バス、鉄道、タクシー等、全ての公共交通を含めた包括計画として策定します。
- ◎市の総合計画や立地適正化計画などと整合し、役割分担や数値指標を明確化します。
- ◎国が定めた者で構成される協議会(法定協議会)の議論を経ての策定が必要です。

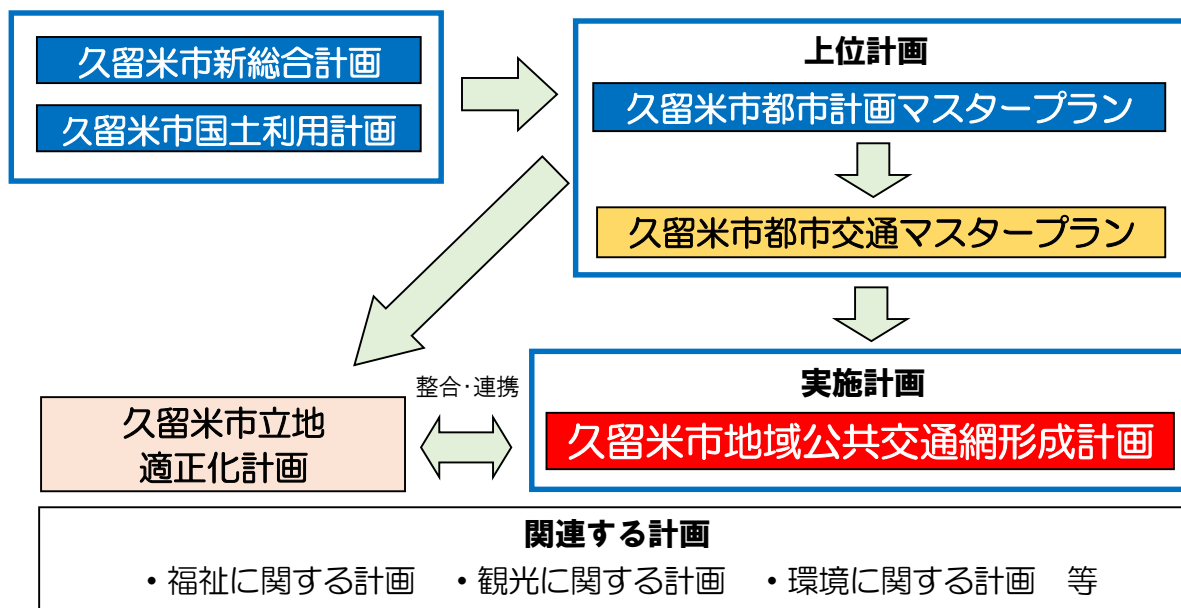
<計画策定のメリット>

- ①市として取り組む施策や検討内容が明確化され、関係者間で共有できる。
- ②関係者と協議を行い策定するため、策定後、事業者調整が円滑に進む。
- ③国の補助(運行、利用促進等)の優遇措置がある。

2. 地域公共交通網形成計画策定の目的について

久留米市地域公共交通網形成計画は、久留米市が目指す「コンパクトな拠点市街地の形成と拠点をネットワークする都市構造」を実現するための、地域公共交通の在り方を検討するとともに、本市が抱える地域公共交通の問題に対応し、将来にわたって市民の生活を支える「持続可能な地域公共交通体系」の構築に向けた取り組みを定めるものです。

3. 形成計画の位置づけ

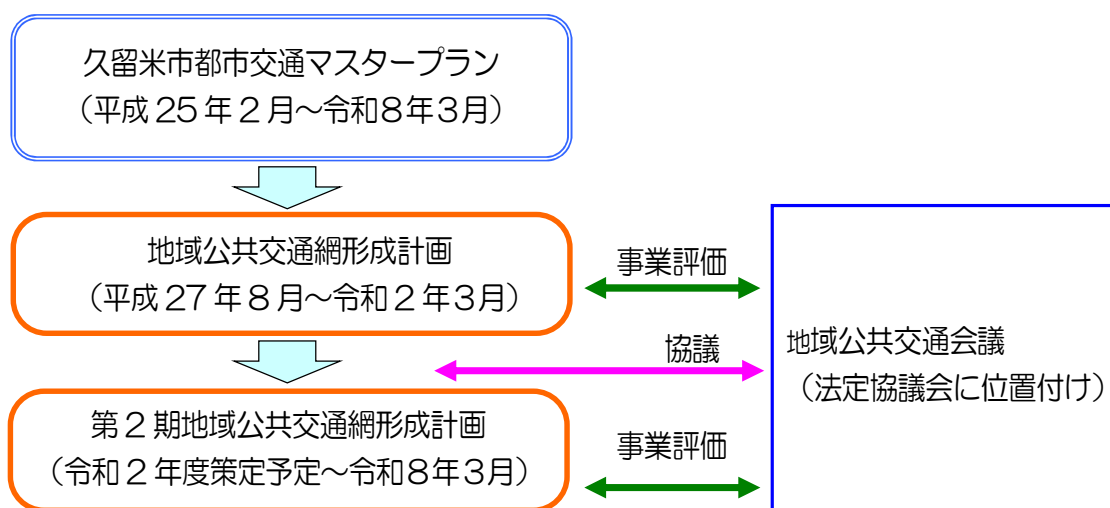


4. 第2期久留米市地域公共交通網形成計画の方針について

久留米市地域公共交通網形成計画は、平成27年から令和元年度末までを計画期間とした5か年計画として平成27年8月に策定され、市民、事業者、行政がそれぞれの役割を担い、生活支援交通「よりみちバス」の導入をはじめ、様々な交通政策に取り組んでまいりました。今後も、少子化や超高齢社会の進展などに伴う社会情勢の変化に対応し、地域公共交通の様々な課題を解消するためには、継続的に取り組みを進めていくことが重要です。

【次期計画の方針】

- ◎形成計画は都市計画マスタープラン、都市交通マスタープランを上位計画とした計画であり、次期計画の目標像、基本方針は上位計画の方針に則します（現計画を継続）。
- ◎実現性、実効性の高い施策を検討し、着実に実施します。
- ◎公共交通を取り巻く新たな課題に対しても対応していきます。



5. 今後のスケジュール

- | | | | |
|-------------|---------|-----------|-------------|
| R 1. 12. 26 | 第3回交通会議 | ・ 現計画の検証 | ・ 計画見直しの方向性 |
| R 2. 2 中旬 | 第4回交通会議 | ・ 実施施策 | ・ 数値指標 |
| R 2. 3 下旬 | 第5回交通会議 | ・ 計画の評価方法 | ・ 形成計画素案 |

現計画の概要及び進捗状況

目標像

1 久留米市の強みを活かし、活力を育む地域公共交通体系

基本方針1 市域内外の連携を支える地域公共交通網を形成します		
取り組み施策	実施した主な事業	関連指標
①主要駅の駅前広場等の整備	犬塚駅前広場整備	①②⑦
②公共交通相互を円滑に乗り継ぎできる拠点の整備	善導寺駅トイレ整備	①②⑦
③幹線バス路線の主要バス停の環境改善	バス停上屋整備	①③⑦
④交通ICカード利用可能エリアの拡大	協議会にて要望	①⑦
⑤市街地フリー乗車券等の導入の検討	路線バス1日フリー乗車券(社会実験)	①③④⑦
⑥公共交通を一体的に利用可能な運賃施策の検討	西鉄・よりみちバス共通乗車券	①⑦

基本方針2 魅力と賑わい溢れる中心拠点づくりを支援する地域公共交通環境を形成します		
取り組み施策	実施した主な事業	関連指標
①中心拠点における公共交通のあり方の調査・研究	検討に留まる	①②③⑦
②中心拠点周辺の市街地における公共交通のあり方調査・研究	外環状道路の路線バス需要調査	①⑦
③パーク&ライド駐車場の確保	検討に留まる	①②⑦
④バスの運行状況に関する情報提供の充実	バスロケ表示機の整備	①③⑦

基本方針3 地域資源を活かした観光振興を支援する地域公共交通環境を形成します		
取り組み施策	実施した主な事業	関連指標
①JR久大本線への新駅の設置	協議会にて要望	①④⑤⑦
②企画乗車券等の新設	西鉄バス草野線日帰りバスパック	①④⑦
③観光施策との連携による公共交通に関する情報提供の充実	イベントチラシ等への公共交通情報掲載	①②③④⑦

基本方針4 多様なニーズに見合った生活交通を充実していきます		
取り組み施策	実施した主な事業	関連指標
①持続可能な地域公共交通網構築のための輸送の見直し	路線バスとよりみちバスの接続	①②⑦
②利用が低迷する路線バス運行エリアにおける移動手段の維持	補助路線周辺住民への時刻表の配布	①⑦
③公共交通空白地域等への生活支援交通の導入	よりみちバス2地域、コミタク17校区	①⑤⑦
④生活利便施設等から利用しやすい停留所の設置	若宮、草野、北野線等の路線改正	①⑦

基本方針5 誰にとっても安全な地域公共交通環境を整えていきます		
取り組み施策	実施した主な事業	関連指標
①主要駅等へのユニバーサルデザインの導入	検討に留まる	①②⑥⑦
②低床バス(バリアフリー対応車両)の普及促進	ノンステップバス3台導入予定(R1)	①③⑦
③交通拠点等での分かりやすい情報案内・誘導の実施	バスロケ表示機の整備	①②③⑦
④高齢者の公共交通利用に対する支援	検討に留まる	①②③⑦

基本方針6 環境負荷が小さい移動手段である公共交通への転換を図ります		
取り組み施策	実施した主な事業	関連指標
①鉄道駅・バス停でのサイクル&ライド駐輪場の確保	市営:鉄道27カ所、バス停3カ所	①②③⑦
②モビリティ・マネジメント、ノーマイカーデー等の実施	バス乗り方教室の実施	②③⑦
③公共交通に関する分かりやすい情報提供の実施	公共交通マップの配布	①②③④⑦

基本方針7 公共交通利用者の維持・拡大を図ります		
取り組み施策	実施した主な事業	関連指標
①地域の公共交通に対する“愛着”の醸成	バス・鉄道フェスタの開催	①②③⑦
②主要施設との連携による公共交通利用のきっかけづくり	路線バス1日フリー乗車券(社会実験)	①③④⑦

取り組み姿勢 市民等、交通事業者、行政のみんなで地域公共交通施策を進める		
取り組み施策	実施した主な事業	関連指標
①地域の要望や移動需要の変化に対応する仕組みづくり	生活交通検討会、コミタク校区支援	①⑤⑦
②地域や企業との協働による運賃以外の収入確保の検討	検討に留まる	—

数値指標の達成状況

【達成状況の評価】○:目標を達成 △:目標は未達成ながらも策定時より改善 =:策定時から改善していない

No	評価指標	計画策定時	H27年度末	H28年度末	H29年度末	H30年度末	目標値	達成状況
①	市民の公共交通に対する満足度	3.23	未調査	3.52	3.12	3.24	3.4	△
②	人口に対する市内主要鉄道駅の乗降客数	76 回/人・年	74	75	75	76	80	=
③	中心拠点内の乗降客数割合	71.1 %	70.8	71.3	71.3	72.1	72.6	△
④	久留米市の年間観光入込客数	515 万人/年	518	525	537	591	700	△
⑤	公共交通空白地域の面積	90 km ²	69	69	69	69	45	△
⑥	主要駅のバリアフリー化率	33 %	33	33	33	33	58	=
⑦	地域公共交通利用率	136 回/人・年	133	135	135	136	143	=

指標①の考察
駅前広場の整備や交通サービスの改善などの直接的に交通サービスが改善される事業の進捗が停滞しており、公共交通に対する満足度は大きく向上せず、目標未達となった。しかしながら、犬塚駅の広場整備やよりみちバスの導入など、事業が着実に進捗した地域や高齢者の評価は改善している。

指標②の考察
駅前広場の整備や交通結節点の環境改善など、利便性向上に貢献する事業の進捗が停滞したため、主要駅の利用者数は増加せず、目標未達となった。しかし、事業を着実に実施した犬塚駅の利用者数は増加しており、事業効果が発現している。

指標③の考察
西鉄久留米駅のバスターミナル高機能化や、JR～西鉄間のバス再編は検討にとどまっているが、中心拠点づくりを支援する事業として、バス停上屋、バスロケ表示機の整備を実施した。目標未達ではあるが、中心拠点内の人口増、シティプラザの開業などの影響により、中心拠点内の公共交通利用は増加傾向にある。

指標④の考察
久留米市観光・MICE戦略プランに基づく観光施策の着実な実施によって、目標未達ではあるが、観光入込客数は増加し指標は改善されている。観光客の公共交通による移動を円滑にするために、観光振興と交通施策との連携を一層進めていくことが求められる。

指標⑤の考察
H27年度の2地域への「よりみちバス」導入により一定の改善はあったものの、その後の展開が停滞しており、目標未達となった。一方で、コミュニティタクシー制度の拡充により、対象者は限られるものの、実質の空白地域は解消傾向にあると捉えられる。

指標⑥の考察
目標とした3駅(荒木・大善寺・宮の陣)について、交通事業者と共に検討を行っているものの、計画期間内での事業化には至っていない。交通結節機能の強化と合わせて、今後も行政と交通事業者で、継続して検討を進めていくことが求められる。

指標⑦の考察
目標値は人口が29万人まで減少した想定の中で、公共交通利用者数を維持することを目的としていたが、結果として人口は計画策定時から横ばいであり、公共交通利用者数は微増しているため、目標未達ではあるが、公共交通利用の維持は達成できていると捉えられる。

検証結果

総括

- 公共交通の利用促進やバス利用環境の改善、よりみちバス、コミュニティタクシーの導入による移動手段の確保など、取り組みが可能な事業から順次計画を進めてきており、中心拠点へのアクセスの向上や公共交通空白地域の改善などの効果も見られる。
- 一方で、中心拠点及び生活拠点の交通結節点機能の強化といったハード面や、公共交通空白地域の解消などのソフト面での施策展開では、検討に留まっている事業や、現在取り組んでいるものも十分な効果発現まで至っていない状況にある。
- 各種施策を着実に実施し、発現した効果をさらに大きく成長させていく必要がある。
- 数値指標の結果からは、実施した事業の効果が十分に発現していないと捉えられる一方で、目標値の中には将来推計人口を基に設定するなど、実態との乖離が生じたものもある。
- 事業効果が適切に反映される指標を新たに検討する必要がある。

効果

- 駅前広場整備及びよりみちバス乗入れを行った西鉄犬塚駅からの中心拠点へのアクセス性向上
- 公共交通空白地域における移動手段の確保
- 市民はもとより来街者にもわかりやすい情報提供環境
- 高齢者にもやさしい利用環境
- 公共交通に対する興味・関心の向上、満足度の改善

課題

- 中心拠点、地域生活拠点の駅の交通結節機能の強化
- 補助路線の生産性向上
- 公共交通空白地域のさらなる解消
- 鉄道におけるバリアフリー化の促進
- さらなる公共交通利用の促進
- より一層の観光振興との連携推進

現計画を見直す上での留意点

- 交通事業者等との事業化についての共通認識
- 庁内の関係部署との施策の共有化(戦略的な実施)
- 校区コミュニティ組織、地域住民との連携

公共交通を取り巻く社会情勢の変化

高齢ドライバーの交通事故の増加

- ・全国的に高齢ドライバーによる交通事故が多発しており、高齢者の免許返納及びその受け皿となる公共交通整備の必要性が高まっている

バス運転手の不足（高齢化、働き方改革）

- ・運転手の高齢化、成り手不足による運転手不足が慢性化。さらに働き方改革を受け、勤務時間の減少によってリソースが削減

公共交通確保維持のための公費負担額の増加

- ・既存公共交通の維持や自治体の地域交通に対する行政負担額が増加傾向にある

新たなモビリティサービスの登場

- ・グリーンスローモビリティやシェアライドなど新たなモビリティサービスが登場してきており、移動サービスの多様性が増している

自動運転技術の進展

- ・自動運転技術が進展し、乗合旅客事業にも適用されつつある。

MaaS 概念への注目の高まり

- ・移動としてのサービスのあり方についての議論が活発化しており、移動手段の一体的なサービスとして捉える必要性が高まっている

上位・関連計画から求められる役割

新総合計画 第4次基本計画（現在策定中）

- ・ネットワーク型のコンパクトな都市の形成：交通結節機能の強化、公共交通の維持と利便性向上、公共交通空白地域への生活支援交通の導入

都市計画マスタープラン

- ・交通拠点を中心とした居住環境の形成
- ・公共交通ネットワーク形成による地域間及び市内外の連携・交流の充実
- ・環境負荷の少ない公共交通の利用促進

立地適正化計画

- ・居住誘導区域と都市機能誘導区域を結び、各地域生活拠点へアクセスしやすい環境の確保

現在の課題の整理

目標像1の実現に向けた課題

- ①市内外の連携・交流を支える公共交通の利用が低迷
- ②鉄道とバス・一般車・自転車などの交通結節機能が不十分
- ③中心拠点内に駅・バス停が離れている地域・生活利便施設が存在
- ④公共交通によるアクセスが困難な観光地が存在
- ⑤交通モードの一体性の不足

目標像2の実現に向けた課題

- ①公共交通空白地域等が依然として広範囲に亘り存在
- ②自動車を利用できない高齢者は外出行動が少ない傾向
- ③高齢者の運転による交通事故の増加が懸念
- ④高齢者・障害者等の外出行動を支えるバリアフリー化が不十分
- ⑤短距離の自動車利用が多く、温室効果ガス排出量増加が懸念
- ⑥公共交通利用者の減少に伴い路線の減便・廃止が懸念

計画の見直しの方向性

基本的な考え方：「現計画の着実な実行に向けた見直し」＋「新たな課題への対応の追加」

取り組んだ施策による数値指標の改善がみられるものの限定的であり、目標達成には至っていないため、引き続き各種施策を着実に進めていく必要がある。また、公共交通を取り巻く状況の変化等による新たな課題にも対応していく必要がある。

2期計画で重点的に対応

長期的に対応

基本方針1 市内外の連携を支える地域公共交通網を形成	交通結節機能の強化 バス利用環境改善の推進
基本方針2 魅力と賑わい溢れる中心拠点づくりを支援する地域公共交通環境を形成	公共交通の一体的な利用環境の形成
基本方針3 地域資源を活かした観光振興を支援する地域公共交通環境を形成	JR久大本線への新駅の設置検討 企画乗車券等の新設 観光施策との連携
基本方針4 多様なニーズに見合った生活交通の充実	補助対象路線の運行見直し 公共交通空白地域への対応
基本方針5 誰にとっても安全な地域公共交通環境を整備	公共交通環境整備
基本方針6 環境負荷が小さい移動手段である公共交通への転換	公共交通への転換啓発
基本方針7 公共交通利用者の維持・拡大	公共交通への愛着醸成
取り組み姿勢 市民等、交通事業者、行政のみんなで地域公共交通施策を進める	地域からの要望等に対応する仕組みづくり

- ・地域生活拠点の駅における駅前広場等の整備（荒木駅・大善寺駅・宮の陣駅）
- ・幹線バスの主要バス停環境改善
- ・MaaSアプリの導入検討
・新たなモビリティの導入検討
- ・（仮）浮羽究真館高校前駅、（仮）櫛の里駅の必要性の検討
- ・MaaSアプリの導入検討
- ・赤字補助路線に対する採算性向上等の検討
- ・地域特性に応じた対応サービスの導入検討、コミタクの拡充
- ・主要駅のユニバーサルデザインの導入、低床バスの普及促進、バスロケの普及促進
- ・公共交通情報提供の充実
- ・乗り方教室の継続実施、公共交通に関するイベントの開催

- ・西鉄久留米駅ターミナル高機能強化
- ・ICカード利用可能エリア拡大バスロケ設置の拡大
- ・中心拠点におけるバス路線の再編の検討
- 企画乗車券の検討
- ・P&R駐車場の確保
・モビリティ・マネジメントの普及
・サイクル&ライド、サイクル&バスライドの環境整備
- ・生活交通検討会における導入検討や維持活性化の推進

ここに記載の事業は（案）であり、具体的な事業内容については、次回会議で検討を行う。

報告第4号

路線バス久留米線の一部減便について

路線バス久留米線の一部減便について、別紙のとおり報告する。

令和元年12月26日提出

路線バス久留米線の一部減便について（報告）

バス路線（久留米線）において、運行事業者である堀川バス株式会社より、路線の一部減便の申し出がありましたのでご報告いたします。

1. 概要

1) 減便時期：令和元年 11 月 16 日

2) 現状（11 月 15 日まで）の運行便数及び増減便数

	系統	平日	土曜	日祝日
1	福島～鎌水～西鉄久留米～久留米駅	3.5 (▲1.0)	5.0 (0.0)	4.0 (0.0)
2	福島～大学医療センター～西鉄久留米～久留米駅	1.5 (+1.0)	0.0 (0.0)	0.0 (0.0)
3	鎌水～野中町～西鉄久留米	1.0 (0.0)	5.0 (▲1.0)	3.0 (0.0)
4	鎌水～大学医療センター～野中町～西鉄久留米	4.0 (▲1.0)	0.0 (0.0)	0.0 (0.0)
5	鎌水～野中町～久留米駅	7.0 (▲0.5)	19.0 (▲5.0)	17.0 (0.0)
6	鎌水～大学医療センター～野中町～久留米駅	10.0 (▲3.5)	0.0 (0.0)	0.0 (0.0)
7	大学医療センター～野中町～久留米駅	2.0 (▲1.0)	0.0 (0.0)	0.0 (0.0)
	合計	29.0 (▲6.0)	29.0 (▲6.0)	24.0 (0.0)

3) 路線の一部減便を行う背景

乗務員の退職による乗務員不足及び働き方改革関連法による有給休暇の消化等の実行のため、路線の一部を減便する。

2. 協議経緯及び今後の予定

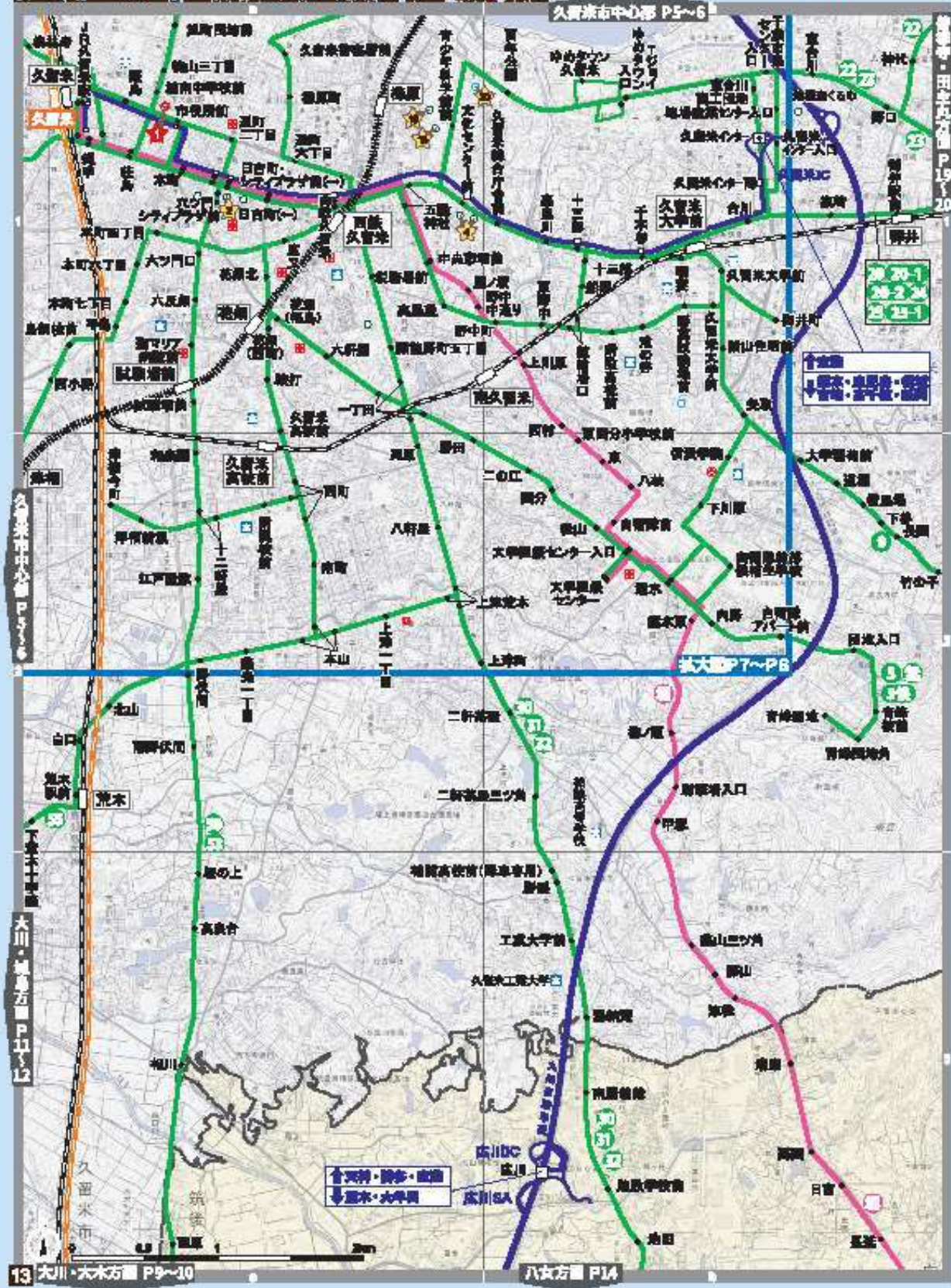
令和元年 10 月 31 日 福岡県バス対策協議会ブロック別地区協議会
 11 月上旬～ 堀川バス株式会社ホームページに掲載
 バス車内及び各バス停にチラシを掲示
 市から校区へ説明（校区より地域内へ回覧等で周知）
 11 月 16 日 減便実施

3. その他

第 3 回久留米市地域公共交通会議にて改めてご報告させていただきます。

圏域南部 八女方面

記号	施設名称	記号	施設名称	記号	施設名称
①	市役所・町役場等	④	高専・大学等	⑦	スポーツ施設
②	福祉(老人・障害者施設)	⑤	文化・観光施設	⑧	イベント会場



報告第5号

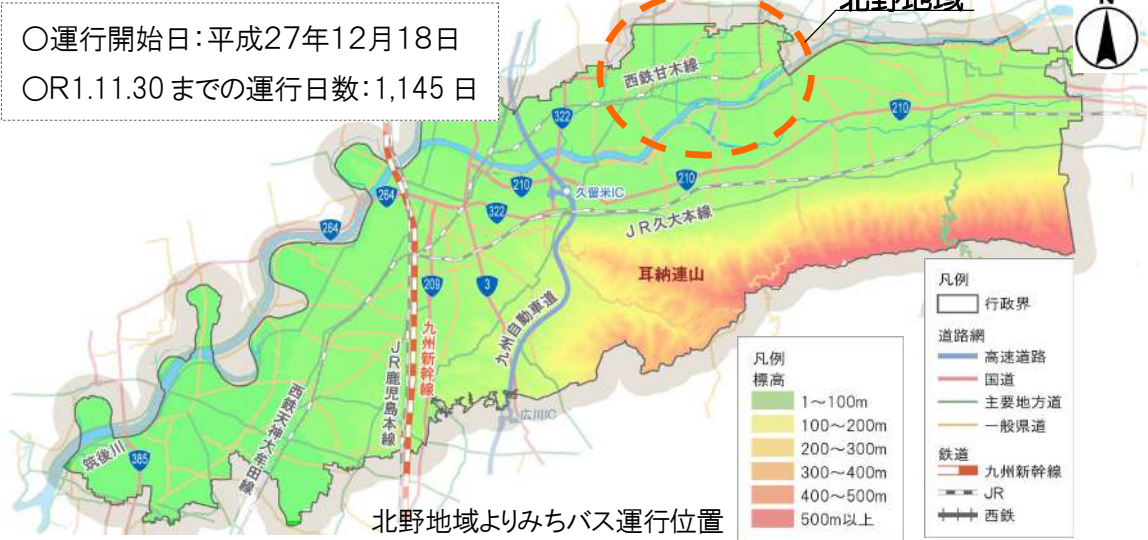
生活支援交通「よりみちバス」の利用状況等について

生活支援交通「よりみちバス」の利用状況等について、別紙のとおり報告する。

令和元年12月26日提出

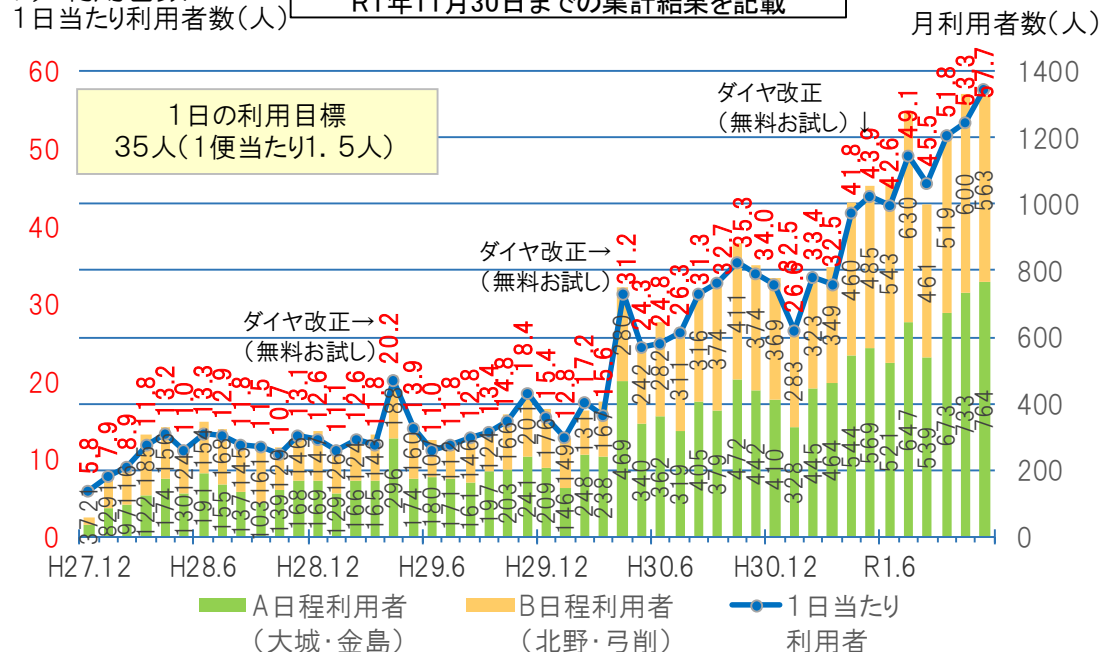
生活支援交通「よりみちバス」の利用状況等について

1. 北野地域よりみちバス（コスモス号）の利用状況等



■利用状況

1) 利用者数



年度別利用状況(運行開始～R1.11.30)合計

年度	A日程利用者 (大城・金島)	B日程利用者 (北野・弓削)	合計 利用者数	運行 日数	1日あたり 利用者数
H27	338人	413人	751人	82日	9.2人
H28	1,826人	1,723人	3,549人	292日	12.2人
H29	2,464人	1,827人	4,291人	291日	14.7人
H30	4,835人	3,914人	8,749人	288日	30.4人
R1	4,990人	4,261人	9,251人	192日	48.2人
計	14,453人	12,138人	26,591人	1,145日	23.2人

2) 支払い種別

	令和元年度			平成30年度		
	定期券	1日乗車券	現金等	定期券	1日乗車券	現金等
8月	74%	12%	14%	63%	15%	22%
9月	82%	10%	8%	66%	15%	19%
10月	81%	10%	9%	71%	15%	14%
11月	77%	12%	11%	68%	16%	16%

3) 停留所の利用状況(H31.4.1～R1.11.30)

停留所名 (利用の多い順に30位まで抽出)	種別	利用 可能日	乗者数+降車数 合計	1日当り
1位 プラザ善導寺	商店	A	1,987人	21.1人
2位 ザ・ビッグ北野店	商店	A・B	1,687人	8.7人
3位 北野老人いこいの家	公共施設	A	683人	7.3人
4位 Aコープ大刀洗店	商店	A	540人	5.7人
5位 神代病院	病院	A	528人	5.6人
6位 コスモすまいる北野	公共施設	A・B	959人	5.0人
7位 古賀茶屋駅	駅	B	450人	4.5人
8位 船端集落センター	居住地	A	410人	4.4人
9位 金島駅前	駅	A	391人	4.2人
10位 灰塚橋(柳原団地)	居住地	B	398人	4.0人
11位 高良2区東	居住地	B	390人	3.9人
12位 土居集落センター	居住地	A	370人	3.9人
13位 大城駅	駅	A	357人	3.8人
14位 西石崎	居住地	B	366人	3.7人
15位 北野生涯学習センター	公共施設	B	352人	3.6人
16位 蒲池医院	病院	A・B	642人	3.3人
17位 弓削コスモス館	公共施設	B	328人	3.3人
18位 ドラッグコスモス北野店	商店	A・B	601人	3.1人
19位 安永公民館前	公共施設	A	284人	3.0人
20位 J Aみい経済センター大城店	金融・駅	A	264人	2.8人
21位 大城ますかげセンター	公共施設	A・B	496人	2.6人
22位 ぜんどうじ整形外科	病院	A	229人	2.4人
23位 上弓削公民館	公共施設	B	232人	2.3人
24位 高良2区公民館	公共施設	B	226人	2.3人
25位 きつき歯科医院	病院	A	208人	2.2人
26位 コメリ北野店	商店	A・B	408人	2.1人
27位 ぽっかぽかの湯	娯楽施設	A	198人	2.1人
28位 十郎丸公民館	公共施設	B	204人	2.1人
29位 陣屋第一	居住地	B	200人	2.0人
30位 陣屋第三	居住地	B	192人	1.9人

※利用可能日：A⇒A日程、B⇒B日程

2. 城島地域よりみちバス（インガット号）の利用状況等

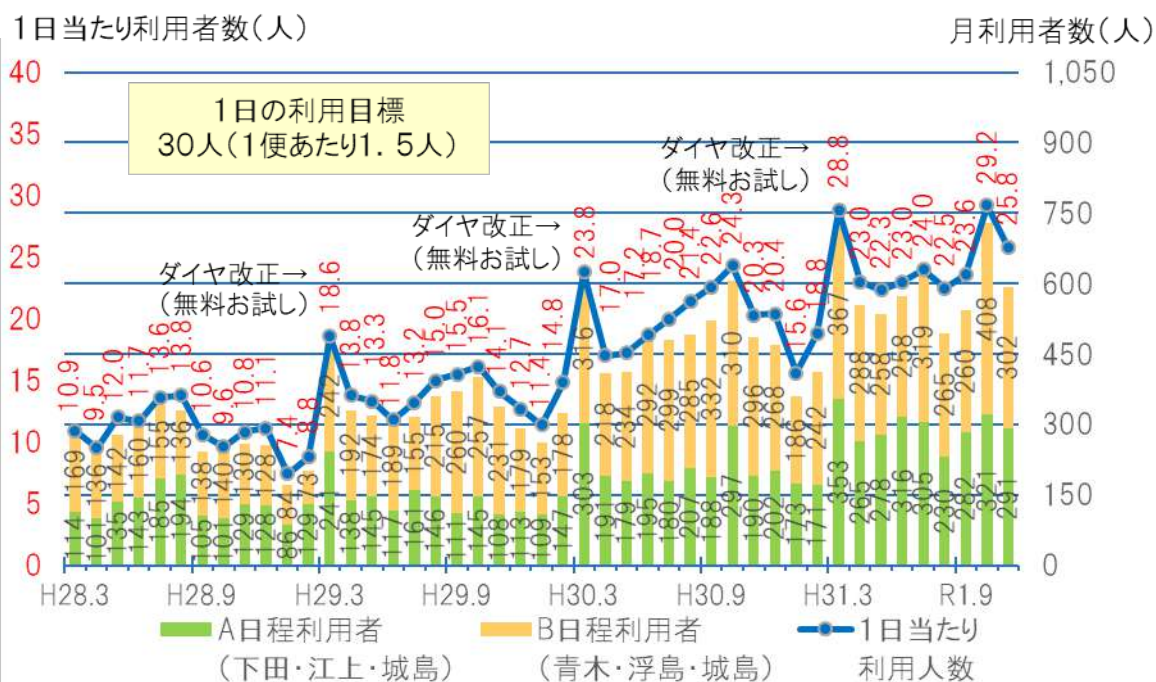
○運行開始日:平成28年 3月 1日
 ○R1.11.30までの運行日数:1,083日



■ 利用状況

1) 利用者数

R1年11月30日までの集計結果を記載



年度別利用状況(運行開始～R1.11.30)

年度	A日程利用者 (下田・江上・城島)	B日程利用者 (青木・浮島・城島)	合計 利用者数	運行 日数	1日あたり 利用者数
H27	114人	169人	283人	26日	10.9人
H28	1,677人	1,664人	3,341人	290日	11.5人
H29	1,743人	2,499人	4,242人	289日	14.7人
H30	2,526人	3,329人	5,855人	286日	20.5人
R1	2,288人	2,358人	4,646人	192日	24.2人
計	8,348人	10,019人	18,367人	1,083日	17.0人

2) 支払い種別

	令和元年度			平成30年度		
	定期券	1日乗車券	現金等	定期券	1日乗車券	現金等
8月	39%	31%	30%	32%	38%	30%
9月	46%	34%	20%	39%	34%	27%
10月	49%	29%	22%	28%	51%	21%
11月	50%	30%	20%	36%	31%	33%

3) 停留所の利用状況(H31.3.1~R.1.11.30)

停留所名 (利用の多い順に30位まで抽出)	種別	利用 可能日	乗者数+降車数 合計	1日当り
1位 アスタロピスタ城島店	商店	A・B	2,145人	10.0人
2位 萬年内科	病院	A・B	845人	3.9人
3位 中小路住宅	居住地	A	373人	3.5人
4位 江上校区コミュニティセンター	公共施設	A	359人	3.4人
5位 安本病院	病院	A・B	646人	3.0人
6位 江島納骨堂前	居住地	B	289人	2.7人
7位 ファミリーマート城島店(中町整骨院)	商店・病院	B	285人	2.6人
8位 犬塚駅	駅	A・B	559人	2.6人
9位 内野南集落センター	居住地	A	235人	2.2人
10位 青木校入口	居住地	B	229人	2.1人
11位 小島	居住地	B	219人	2.0人
12位 古町公民館	公共施設	A	199人	1.9人
13位 富田病院	病院	B	196人	1.8人
14位 平野	居住地	A	182人	1.7人
15位 城島中町	居住地	A	157人	1.5人
16位 アスタロピスタ三根店	商店	A	143人	1.3人
17位 下青木第2	居住地	B	137人	1.3人
18位 内茂手団地	居住地	A	118人	1.1人
19位 西青木公民館	公共施設	B	121人	1.1人
20位 ゆうゆう(三瀨総合福祉センター)	娯楽施設	A・B	222人	1.0人
21位 城島総合支所	公共施設	A・B	189人	0.9人
22位 大依	居住地	B	95人	0.9人
23位 青木校区コミュニティセンター	公共施設	B	93人	0.9人
24位 馬場公民館	公共施設	A	90人	0.8人
25位 西ノ島	居住地	B	86人	0.8人
26位 城島げんきかん	公共施設	A・B	165人	0.8人
27位 芦塚公民館	公共施設	A	81人	0.8人
28位 六町原公民館	公共施設	B	81人	0.7人
29位 県営城島団地	居住地	A	77人	0.7人
30位 あおき温泉	娯楽施設	A・B	154人	0.7人

※利用可能日:A⇒A日程、B⇒B日程

3. 目標達成状況（定量的な目標と達成状況）

よりみちバス運行に係る国庫補助申請に必要な事業計画に記載している定量的な数値目標（平成31年度：バス会計年度 H30.10.1～R1.9.30）とその達成状況は次の通り。

1) 北野地域

(1) 定量的な数値目標

目標1) よりみちバス1便あたりの利用者数1.5人（循環系統は3.0人）
⇒ 利用者数35人/日

※最低でも乗りあった（1便1人以上）状態での運行を目標とし、1日の運行便数を考慮し目標値を設定。

目標2) 路線バス北野線での1日乗車券の利用者数 7人/日

※1日乗車券は北野地域内でよりみちバス、路線バスで利用可能。目標の7人は北野線の北野地域での1日の域内乗降者数。

目標3) 北野地域の公共交通機関の現状に対する満足度 3.11ポイント超

※市民意識調査結果「満足（6ポイント）～不満（0ポイント）としたアンケート結果」の平均値。3.11ポイントは29年度調査結果。

(2) 達成状況

目標	目標値	H29.10.1～ H30.9.30	H30.10.1～ R1.9.30	H31年度詳細	
		H30年度 (バス会計年度)	H31年度 (バス会計年度)	H30.10.1～ H31.3.31	H31.4.1～ R1.9.30
				H31ダイヤ 改正前	H31ダイヤ 改正後
目標1 (達成率)	35人/日	22.0人/日 (62.9%)	39.1人/日 (111.7%)	32.4人/日 (92.6%)	45.8人/日 (130.9%)
目標2	7人/日	0人/月	0人/月		
目標3	3.11ポイント超	2.65	2.62(暫定)		

【参考：事業計画変更後の北野地域よりみちバスの利用目標案】

- ・大城便（月・水・金）往復5便、循環3便 →利用目標16.5人/日
 - ・金島便（月・水・金）往復9便 →利用目標13.5人/日
 - ・北野便（火・木・土）往復1便、循環5便 →利用目標16.5人/日
 - ・弓削便（火・木・土）往復1便 →利用目標16.5人/日
- ⇒ 1日あたりの利用目標者数は平均31.5人
※引き続き 1日35人を目標

2) 城島地域

(1) 定量的な数値目標

目標1) よりみちバス1便あたりの利用者数1.5人(循環系統は3.0人)
⇒ 利用者数30人/日

※最低でも乗りあった(1便1人以上)状態での運行を目標とし、1日の運行便数を考慮し目標値を設定。

目標2) 路線バス大善寺線での1日乗車券の利用者数 10人/日

※1日乗車券は城島地域内でよりみちバス、路線バスで利用可能。目標の10人は大善寺線の城島地域での1日の域内乗降者数。

目標3) 城島地域の公共交通機関の現状に対する満足度 1.78ポイント超

※市民意識調査結果「満足(6ポイント)～不満(0ポイント)としたアンケート結果の平均値」。1.78ポイントは29年度調査結果。

(2) 達成状況

目標	目標値	H29.10.1～	H30.10.1～	H31年度詳細	
		H30.9.30	R1.9.30	H30.10.1～	H31.4.1～
		H30年度 (バス会計年度)	H31年度 (バス会計年度)	H31ダイヤ 改正前	H31ダイヤ 改正後
目標1 (達成率)	30人/日	17.6人/日 (58.7%)	22.3人/日 (74.3%)	21.5人/日 (71.7%)	23.1人/日 (77.0%)
目標2	10人/日	数人/月	数人/月		
目標3	1.78ポイント超	1.66	1.37(暫定)		

【参考：事業計画変更後の城島地域よりみちバスの利用目標案】

- ・ A日程 (月・水・土) 往復18便 → 利用目標27.0人/日
 - ・ B日程 (火・木・金) 往復16便 → 利用目標24.0人/日
- ⇒ 1日あたりの利用目標者数は平均25.5人/日
※引き続き 1日30人を目標

報告第6号

令和元年度事業（公共交通マップの更新）の取り組み状況について

令和元年度事業（公共交通マップの更新）の取り組み状況について、別紙のとおり報告する。

令和元年12月26日提出

令和元年度事業（公共交通マップの更新）の取り組み状況について

1. 規格

A4版冊子 24ページ程度

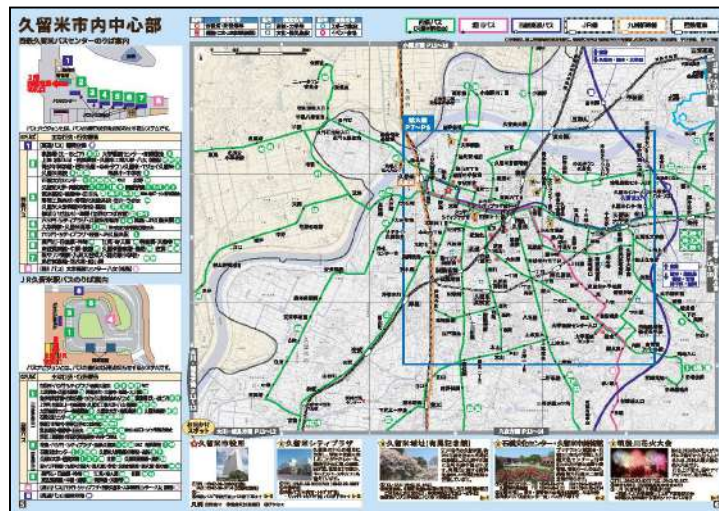
【表紙】



【背表紙】



【見開き】



2. 発行予定部数

18,000部

3. 主な更新・修正予定箇所

○令和2年度のダイヤ改正内容を反映した情報の掲載 等